

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自2 外2	事業所と地域とのつきあい 町内会行事に参加し、顔なじみの関係はあるが、地域の方が訪問されることが少ない。多目的室などのスペースを利用して、入居者の保有する力を活用し、ホームでイベントを開催し、地域の方をお招きするなどして地域との交流をさらに深める活動がしたい。	多目的室などのスペースを利用してホームでイベントを開催し、地域の方をお招きするなどして地域との交流をさらに深める活動ができる。	①地域包括支援センターと協力し行事の年間計画開催を立案・開催できるよう調整する ・認知症サポーター養成講座 ・認知症カフェ ・お茶会 ・バザーなど ②近隣住民、町内会、関係機関にチラシを配布する ③運営推進会議への参加のアプローチをする。	12ヶ月
2	自35 外13	災害対策 火災の避難訓練実施の他に、事業継続計画(BCP)マニュアルの作成に取り組んでいる。利用者と共に市や町内の防災訓練にも参加してはいるが、事業所の避難訓練には地域参加の呼びかけができておらず、地域との協力体制構築が必要。	地域との協力により、火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる体制ができる。	①目標達成計画1、2により地域との交流を図る。 ②各種災害に備えたマニュアルの策定、実践訓練、備品等の準備 ③地域と合同での避難訓練の実施を計画し、チラシを配布する。	12ヶ月
3	自36 外14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 職員同士やサービス提供において、一人一人の尊重とはどのようなことなのか、プライバシーとはどのようなことなのか。基本となることを改めて見つめることを通じて、職員一人一人が「尊厳」ある暮らしの実現を目指していきたい。	尊厳ある暮らしの実現ができる。	①一人一人の権利とは何かを学びなおす ②言葉かけや関わりの点検	12ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。